

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	心理学概論B (Introduction to Psychology B)		
ナンバリングコード	E21507	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	選択・教職 教職関係科目(選択必修): 高等学校教諭一種免許状(公民) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	EK01251	クラス名	-
担当教員名	麻生 良太		
履修上の注意、 履修条件	遅刻, 講義中のスマートフォン・携帯電話の使用, おしゃべり, 居眠り等の行為は禁止です。		
教科書	あなたのこころを科学する ver3 古城和敬他 編著 北大路書房		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	心理学概論A		

○基本情報		
授業の目的	心理学的な知識は、人が日頃から意識せずに行っている行動の背景に、どのように心と周りの環境が関わっているかを教えてください。また、教員としての実践的なことを学ぶ時の手助けとなる知識を身につけることができます。この授業では、特に学習, 対人行動, 集団行動について学びながら、人間理解と教育の基礎的な知識を身につけることを目的としています。	
授業の概要	授業は基本的に講義形式ですが、心理学を身近に感じ、そのおもしろさを実感してもらうため。一部で演習形式の基礎実験的な内容も取り入れたり、グループワークを行ったり、実際の心理学実験のDVD等を鑑賞してもらいます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①教職を目指すものとして心理学が教職にどのようなつながりがあるのか理解できる。	10点		5点
【知識・理解】	②人間行動の背景にある基本的理論を個々の学習の観点と集団の観点から説明できる。 ③学習理論の重要なトピックと対人・集団行動の重要なトピックについて理解できる。	40点		5点
【技能・表現・コミュニケーション】	④知識を応用した演習やグループワークに積極的に参加し、理解を深めることができる。	20点		5点
【思考・判断・創造】	⑤様々な心理学の知識を関連づけ、日常生活の人間行動について考えることができる。	10点		5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
集中講義になりますので、各日の最後にその日に学んだことおよび質問を書く、リアクションペーパーを課します。このリアクションペーパーも評価の対象になります。 期末試験も行いますので、期末試験の点数とリアクションペーパーの点数で評価をつけます。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 心理学概論B (Introduction to Psychology B)	授業コード EK01251
	担当教員 麻生 良太	
学修内容		
1. 学習(古典的条件づけ) 学習理論の1つである古典的条件づけの過程について考えていきます。		
予習	テキストp53～p55を熟読し、ノートを作成する。	約2時間
復習	学習の定義、学習を成立させる方法についてまとめる。	約2時間
2. 学習(道具的条件づけ) 学習理論の1つである道具的条件づけの過程について考えていきます。		
予習	テキストp56～p60を熟読し、ノートを作成する。	約2時間
復習	古典的条件づけ、道具的条件づけの違いをまとめる。	約2時間
3. 集団行動(リーダーシップ) 集団行動の中でもリーダーシップの機能や役割について考えていきます。		
予習	テキストp156～p158を熟読し、ノートを作成する。	約2時間
復習	リーダーシップの定義やPM理論についてまとめる。	約2時間
4. 集団行動(演習) 演習を通して、リーダーシップについて考えていきます。		
予習	演習の手順を確認し、ノートにまとめる。	約2時間
復習	演習の成果を振り返り講義と関連づけてまとめる。	約2時間
5. 集団行動(グループワーク) グループワークを通して、リーダーシップについて考えていきます。		
予習	グループワークの手順を確認し、ノートにまとめる。	約2時間
復習	グループワークの成果を振り返り講義に関連づけてまとめる。	約2時間
6. 集団行動(集団思考) 集団行動において起こる集団思考とその要因について考えていきます。		
予習	テキストp158～p162を熟読し、ノートを作成する。	約2時間
復習	集団浅慮、集団決定、社会的促進、社会的手抜きについてまとめる。	約2時間
7. 集団行動(集団のまとまりと規範) 集団行動において起こる集団のまとまりと集団規範とその要因について考えていきます。		
予習	テキストp163～p164を熟読し、ノートを作成する。	約2時間
復習	集団凝集性、集団規範についてまとめる。	約2時間
8. 集団行動(同調と服従) 集団行動において起こる同調、同調圧力、権威への服従についてDVDや事例を通じて考えていきます。		
予習	テキストp164～p165を熟読し、ノートを作成する。	約2時間
復習	同調圧力、権威への服従のDVD等と講義とを関連づけてまとめる。	約2時間

○授業計画	科 目 名	心理学概論B (Introduction to Psychology B)	授業コード	EK01251
	担当教員	麻生 良太		
学修内容				
9. 対人行動(対人認知) 対人行動の中でも対人認知に関わる諸理論について考えていきます。				
予習	テキストp134～p138を熟読し、ノートを作成する。			約2時間
復習	印象形成、認知的バランス理論についてまとめる。			約2時間
10. 対人行動(非言語的コミュニケーション) 対人行動の中でも非言語的コミュニケーションが相手に与える役割について考えていきます。				
予習	テキストp142～p143を熟読し、ノートを作成する。			約2時間
復習	コミュニケーションにおける表情やしぐさの役割についてまとめる。			約2時間
11. 対人行動(言語的コミュニケーション) 対人行動の中でも言語的コミュニケーションが相手に与える役割について考えていきます。				
予習	テキストp144～p145を熟読し、ノートを作成する。			約2時間
復習	言語的コミュニケーションにおけるティーチングとコーチングの役割についてまとめる。			約2時間
12. 対人行動(演習) 非言語／言語的コミュニケーションを活用した演習を行います。				
予習	演習の手順を確認し、ノートにまとめる。			約2時間
復習	演習の成果を振り返り講義に関連づけてまとめる。			約2時間
13. 対人行動(グループワーク) 非言語／言語的コミュニケーションを活用したグループワークを行います。				
予習	グループワークの手順を確認し、ノートにまとめる。			約2時間
復習	グループワークの成果を振り返り講義に関連づけてまとめる。			約2時間
14. 対人行動(自己呈示と自己開示) 対人行動の中でも自己呈示と自己開示の違いとそれぞれが相手に与える影響について考えていきます。				
予習	テキストp138～p141を熟読し、ノートを作成する。			約2時間
復習	自己呈示と自己開示の種類や効果についてまとめる。			約2時間
15. 対人行動(コミュニケーションと説得) 対人行動の中でも相手を説得するための技法について考えていきます。				
予習	テキストp145～p148を熟読し、ノートを作成する。			約2時間
復習	説得における要請技法と承諾の種類と効果についてまとめる。			約2時間
16. 期末試験 これまでの内容について選択式の試験を実施します。自筆ノートおよび講義内に配布したプリントは持ち込み可とし、試験時間は60分です。				
予習				
復習				